



第31番・竹林寺 五重の塔 (満足行参加者一同)



令和二年元旦  
鯖大師本坊  
柳本 明善

謹賀新年

初春の  
ま慶びを  
申し上げます



発行所  
〒775-0101  
徳島県海部郡海陽町浅川  
鯖大師本坊同行二人会  
電話 (0884)73-0743  
FAX (0884)73-3405  
編集人 柳本 明善  
印刷所 (有)前野印刷

<http://www.sabadaishihonbou.jp/>



鯖大師本坊の  
携帯サイトです。

- 一、眼施・優しい眼差
- 二、和顔悦色施・笑顔
- 三、言辞施・優しい言葉
- 四、身施・力を貸す
- 五、心施・親切にする
- 六、床座施・場所を譲る

四国巡礼、四国遍路はお大師さまが開かれた四国八十八ヶ所の霊場を南無大師遍照金剛と唱えながら修行する巡拝であります。

四国にはお接待と言う風習があります。四国巡拝、お遍路をした人は必ず体験、お接待を受けた事が有ると思います。

接待とは一般的に客をもてなす事を指しますが、四国遍路では巡拝者をもてなす事をお接待と呼びます。

仏教は布施を強く説きます。仏心は施しの行となつて初めて現実のものとなります。

私たち仏になろうとする者(菩薩)とは布施の行いをする人の事でありませう。

雑宝蔵経と言うお経の中に無罪の七施が説かれています。



満足行のお接待 (長井様と共に)

お接待は同行二人そのもので有ります。たくさんのお接待をしていただきまして。

合掌

南無大師遍照金剛

お接待は  
同行二人のミニマム  
心を洗い 心を磨く

をいただく、決して見返りを期待する行為ではありません。

道中、笑顔で挨拶、励ましの言葉、飲物や食物をいただく、休憩させていただく、宿の世話をさせていただく、全てがお接待であります。

私の遍路修行では教え切れないお接待をしていただきました。今迄、遍路出来たのはお接待のおかげであります。

朝、早く歩いている時、わざわざお弁当を作ってくれた人、民家の玄関先で休憩している時、飲物をお接待してくれた人、自転車で追いかけて来てくださる人、たくさんのお接待をしていただきまして。

骨の無い物は怖い!!

※風・雨・波(天災の教訓) ※高知県奈半利町加領郷

鯖大師ホームページ  
URL <http://www.sabadaishihonbou.jp>  
\*ホームページでは鯖大師由来、過去の掲載、護摩祈願・ご供養等のお申し出、またお線香のご注文等お受けしております。



人生即遍路

四国八十八ヶ所霊場・別格二十霊場



歩くも遍路 満足行巡拝

第十五回、パート(2)

令和元年十一月十九日より  
令和元年十一月二十六日まで

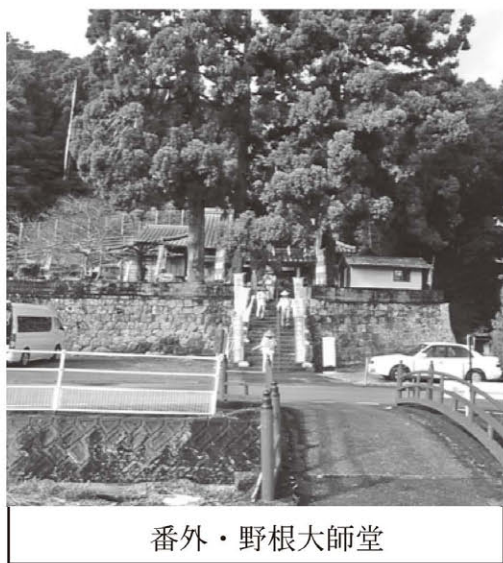
読む遍路

秋の日暮れは釣瓶落とし午後五時には薄暗くなる。

今回の満足行は阿波、鯖大師本坊より修行の道場、土佐、第三十六番・青龍寺までの巡拝修行であります。

修行の海道

十一月十九日、朝五時、鯖大師本坊を出発国道の五十五号線、八坂八浜を歩き徳島県の最南端、海陽町穴喰を過ぎると高知県、修行の道場、土佐の始まりである。東洋町甲の浦の海の駅で徳島県海陽町、長井光・千登志さんご夫妻、野村恵子さんより昼食弁当のお接待をしていただき。今年で十五回目、二年に一度三十年に及



番外・野根大師堂

ぶお接待、感謝の気持ちで一杯である。東洋町野根の古い番外・野根大師、明徳寺を参拝して伏越ノ鼻を過ぎ、荒波で石が丸くなるゴロゴロ石の浜から遠く室戸岬を望む。

秋の台風で太平洋の荒波が国道を越えた跡が生々しい。

室戸岬の途中には淀ヶ磯の法界上人堂や佐喜浜町入木の仏海上人の庵など、海道ゆかりの霊跡がある。十九日に東洋町白浜、二十日に室戸市佐喜浜の民宿に泊まり二十日に室戸岬に着く。

お大師さま修行の霊跡、室戸岬

室戸岬にはお大師さまが御修行された洞窟御蔵洞がある。第二十一番・太龍寺と共に、お大師さま御修行の原点の霊跡である。



奴草(やつこそう)第24番 最御崎寺境内

お大師さまは、この御蔵洞で御修行し「明けの明星」を得られました。御蔵洞は三年程前から崩落の危険が有



第25番・津照寺

ると入口に防護屋根が造られ、入堂はヘルメット着用することになりました。無粋ですが危険には変えられません。

二十一日は、お大師さまの縁日、第二十四番・最御崎寺の奥ノ院、一夜建立の岩屋から山道を登る。最御崎寺本堂前の境内に座り今回、最初のお勤めをする。境内の椎の木の下ヤッコ草が愛らしい。

暖かく穏やかな天気、第二十五番・津照寺に歩く。通称、津寺は室戸市の真ん中、本堂は小高い山の上、急階段に息を切らす。ご本尊は海上安全の地藏菩薩として信仰されている。第二十六番・金剛頂寺までは4kmと近い室戸の西にあるから西寺と呼ばれる。

海拔百六十mの山上に立派な本堂が鎮座する。奥ノ院・不動岩の不動堂に下る。ここには安芸湾に面した海側に洞窟がある。室戸岬の御蔵洞と共に、もう一つの御蔵洞と呼ばれる。洞窟から前が開け、明星を得出来る様な気がする。

羽根より中山峠を越え奈半利町加領郷に下る。お大師さまが第二十七番・神峯寺を建設される時、基地にされたと言う伝説がある。

土佐の最大の難所、神峯寺

二十二日は神峯寺の下、安田町唐浜の民宿に宿泊す。夕方より少し時雨れる。

二十三日朝、四時、第二十七番・神峯寺に向かつて歩く、片道、約4km弱の山登り、五時半、本堂に着き参拝、天気は回復、満天の星、境内より望む太平洋は雄大。

室戸市に入り大山岬から国道、堤防を歩き安芸市、漁港より旧土佐電鉄の廃線跡に造られたサイクリング専用道路を歩く。サイクリング専用宿泊所の海の宿、しおや宿に泊まる。



第27番・神峯寺 (午前五時半)

のどかな大日寺と国分寺

六日目、幾分疲れてくる。香南市に入り第二十八番・大日寺に参拝する。神峯寺まではハードであったが少し雰囲気が変わってくる。

大日寺は小高い山の上、正面に本堂、左に大師堂と非常にシンプルな佇まい。本堂より少し行くと奥ノ院・爪彫薬師堂、首から上の病には特に霊験があると名高い。大日寺から第二十九番・国分寺には物部川に架かる戸板島橋を渡り一面のニラ



畑の南国平野を歩く。昼過ぎ、こんもりした木立に覆われた国分寺に着く。天平時代、聖武天皇が全国に建立した土佐国分寺、柿葺きの本堂、大師堂が静かに佇む。掃除の行き届いた境内、静かで心が落ち着く。

参拝後、小雨、第三十番・善楽寺には高知大学医学部病院から国道三八四号線の逢坂峠を越え高知市に入る。善楽寺のご本尊は阿彌陀如来、オン アミリタテイセイ カラウンと唱える。

十一月二十四日、善楽寺より少し手前、土佐山田駅前の宿に車で引き返し宿泊する。



あかの・お接待所 (第28番・大日寺への道中)



第28番・大日寺奥ノ院爪彫薬師堂

ブログ「鯖大師本坊歩き遍路・沙門明善」  
\*満足修行の道中日記や写真をブログで更新しています。ご覧下さい。

### 五重の塔が映える竹林寺

第三十一番・竹林寺は高知市の観光名所、五台山、コンビニで朝食を済ませ七時より歩き始める。山上の境内は手入れが行き届き五重の塔と紅葉が映え美しい。

ご本尊は学問の仏尊、文殊菩薩がお祀りされている。竹林寺より第三十二番・禪師峰寺に下る。自然石で出来た階段の遍路道は歩き難い。下田川を渡り仁井田の武智半平太の旧跡前の農家の方より新高梨のお接待、みずみずしくて美味しい。

禪師峰寺は小高い山の上、境内より望む土佐湾、桂浜の景観が美しい。また参道横の奇岩と不動明王の石像が印象に残る。参拝後、下山し土佐湾沿いの道路を歩き種崎よりフェリーに乗り第三十三番・雪蹊寺の近く長浜に着く。

このフェリーは県道で高知県営、乗船時間は五分足らず無料である。雪蹊寺は土佐の覇者、長宗我部元親の菩提寺、臨済宗妙心寺派の寺である。境内は禅宗の凛とした雰囲気漂う。参拝後、第三十四番・種間寺の近くまで歩く。

### 不動明王が持つてくれる

十一月二十六日、最終日、種間寺近くより歩き始める。種間寺は田圃の中、のどかな雰囲気、ご本尊は安産の薬師如来として有名である。第三十五番・清滝寺は仁淀川大橋より山の斜面に望む。高岡の町より坂道と階段に息を切らして登る。

清滝寺は弘法清水伝説の寺、今も本堂前には霊水が湧き出ている。近くのいの町は豊富な水で土佐和紙が出来る所として有名である。清滝寺より高岡に下り塚地に歩く。塚地トンネルを抜けると宇佐の海、宇佐大橋を渡り、第三十六番・青龍



第35番・青滝寺

寺に着く。薄暗くなった木立の中、長い階段を最後の力を振り絞って登ると本堂前のむつし顔をされた不動さまが出迎えてくれた。

ご宝前で今回、最後のお勤めをする。青龍寺はお大師さまが留学の中国より帰国する時、仏具の独鈷杵を投げると青龍寺の奥ノ院の松に止まったという由来に由る。奥ノ院・不動堂は独鈷岳にあり今も篤く信仰されている。



第36番・青龍寺の不動明王

今回の満足行、日の短い秋、早朝より歩くハードな巡拝でしたが無魔無事に修行することが出来ました。

お大師さまの御加護に感謝して今回の満足行を終わります。

合掌

### 「満足行満願体験記」

#### 満足行に初めて参加して



新潟県 佐藤 保衛

私のお遍路は10年程前、観光地巡りのようなタクシーお遍路で、その時の先達さんに一度は歩いてと言われ、時間が出来たらと思いつきながら先延ばしにしてみました。年号も変わり、60歳の年に何かやり残した事は無いのかやりたい事は無いのかと考えていた時、満足行の案内を見つけた参加を決意しました。

日程表を見ながら、毎日クルマ生活の私が本当に歩けるのか心配になり歩いてみると足や腰が痛くなった。こんな自分が歩き始めるのかと不安なスタートでしたが歩き始めて、ご住職から「自分のペースで無理せず、ただ歩くだけ」と言っていたら少し楽になりました。「一、三日過ぎ疲れが溜まってきた頃、一休みするとご住職から「しんどいなあ」と声を掛けられ立ち上がる時は「やらんとしやあいなあ」と言って歩き出す。その言葉で自分だけじゃない、ご住職もみんなもしんどいのだと感じ、それからは毎日、歩いて、食べて、寝る、そのうちに世の中の事も何も気にならなくなり、身体の痛みはあるものの足が前に進むようになっていった。雨の日があれば晴れの日が有難く思え、そんな当たり前の事に感謝し、一人では歩ききれなかったと思うと一緒に歩いてくれた参加者の皆様、所々で声を掛けてもらい、お接待して下さった地元の方々、本当に「ありがとう」感謝です。

合掌

※写真は一部、松山市伊藤一春様より提供していただきました。





百八煩惱消滅の道  
歩くお遍路  
満足行代参巡拝



四国八十八ヶ所霊場・別格二十ヶ所霊場

百八ヶ寺、百八回のご祈願

あなたに代わり、歩いて巡拝

令和二年二月 十二日(水)〜  
令和二年二月二十一日(金)

十日間

第十五回、満足行パート3は、  
第三十七番・岩本寺より第四十二番・  
仏木寺、(別)五番・大善寺、(別)六番・  
龍光院まで歩いて巡拝致します。

お四国をお参りしたくても出来ない方  
歩いてお参りしたくても出来ない方

あなたに代わり歩き、お願い事を  
百八ヶ寺の御宝前にてお大師さまに  
お願い、ご祈願させていただきます。

ご祈願料(一人一願)

二千元以上

※代参ご祈願ご希望の方は二月二十日  
までにお申し出下さい。代参巡拝後  
ご祈願札をお授け致します。

自分の道を見つけよう、幸せの道を見つけよう！

土佐の霊場の後半と、伊予霊場の前半。

日時：令和2年2月12日(水)〜  
令和2年2月21日(金) 10日間  
集合：令和2年2月11日(火)

土佐市竜・三陽荘  
巡路：第37番・岩本寺〜第42番・仏木寺〜  
(別)第5番・大善寺〜  
(別)第6番・龍光院まで  
(歩行距離 259.4km)



参加料

10,000円

傷害保険料、渉外費に充当

車使用料

(宿泊所、移送等につき車代をお願いします。)

※奉納経料金、宿泊代、昼食代は各自、個人負担。

※参加申し込み〆切日 令和2年1月20日

参加ご希望の方は巡拝資料、申込書をお送り致します。

※お申し出はお電話にて承ります。



二月三日、星まつり大柴燈護摩  
檀木祈願のお勧め

壹萬円

檀木に願いを書いて  
ご祈念致します

◎数に限りがあります、  
集まり次第終了させて  
頂きます。

二月三日、星まつり大柴燈護摩  
特別大添護摩木

一願三千元



長さ2メートルの特別  
大添え護摩木です。  
柴燈護摩壇を囲い、ご祈念  
して火を燈します。

本厄の方、ご病気の方、今年の星回りが黒星の方、良い一年に  
なるよう節分・運勢の変わり目に御祈願をお勧め致します。



護摩堂内に奉安・永代にご祈願申し上げます。身丈54cm 重さ8kg



永代ご祈願大不動明王  
願主奉納料  
金 参拾萬圓也



お不動様のお力に  
おすがりして  
あまねく悪を退け  
迷いを断ち切り  
願いを成就して  
いただきますのです

大不動明王  
護摩堂奉安祈願

大不動明王  
願主ご芳名

米 国	香 港	香 港	香 港	香 港	香 港	香 港	福 岡 県	岡 山 県	東 京 都
ジヤスミンビクトリアチャオ	周 羅	羅 羅	陳 志	李 碧	李 碧	李 碧	和 田	中 山	川 嶋
月強 闔家	鸞 芳	鸞 寶	志 雄	碧 坤	碧 坤	碧 坤	守 親	素 身	典 子
							信 博	正 子	

令和元年七月一日より令和元年十一月三十日まで  
に奉納された方です。ここに厚く御礼を申し上げます。  
この期間以外の方はここに掲載されておられません。  
(敬称略)

星義長会

一月十五日(水) 午前六時  
鯖大師境内

法要にご参加、ご宿泊の方、一年間の無病息災をご祈念した小豆粥をお接待！

宿泊ご希望の方、お申し出下さい。

古いお札は：一月十四日までにお送り下さい。お守り、お札以外はお断りします。

鳥枢沙摩明王御奉納

「烈火で不浄を清浄と化す・鳥枢沙摩明王」

十二月四日、静岡県富士市、大滝和美先達一行が奉納、開眼法要を修行致しました。  
木像は富士市、佐野様が富士山の神木で謹刻されたものです。  
トイレは古くから、怨霊や悪霊の出入口と考えられ、その不浄を清浄に変えてくれるのが鳥枢沙摩明王です。  
御真言 オン クロダナウ ウンジャク

永代、位牌  
祥月命日供養

お大師さまご修行の霊地四国でお位牌、過去帳を毎月の月命日にご供養致します。

位牌預り命日供養  
過去帳記入

一基 参拾萬円

祥月命日供養  
過去帳記入

一霊 拾萬円



千葉県 村上誠司	千葉県 村上潤子	静岡県 島津保	愛知県 俗名 澤木明美	鳥取県 岡澤黄峰	愛媛県 越智まゆの	愛媛県 橋本涉	愛媛県 橋本美子
-------------	-------------	------------	----------------	-------------	--------------	------------	-------------

愛媛県 橋本有美	愛媛県 橋本天海	岡山県 坂本航基	愛媛県 小池美佳	愛媛県 曾我部政子	愛媛県 田中啓子 (三休)	福岡県 力武祐子	福岡県 力武亮太郎
-------------	-------------	-------------	-------------	--------------	---------------------	-------------	--------------

福岡県 丸岡陽好	香港 創古寧波車	趙淑霞	李惠倫	李曉陽	王若詩	周天愨	黃偉倫	陳德
-------------	-------------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----

令和元年七月一日  
より令和元年十一月  
三十日までに奉納祈  
願された方です。  
(敬称略)

### 三十三観音霊場永代奉安 白衣観世音菩薩

為山田家先祖代々菩提  
私にちを苦一むから  
救い導く仏  
観音さまに願いを  
一願一体  
貳万円



願主  
徳島県  
山田 太郎

### 第84番 屋島寺

#### 愛媛県 池田 通世

令和元年七月一日より令和元年十一月三十日までに奉納祈願された方です。  
(敬称略)

### 蓮華台奉納願主 ご芳名

### ローキ万円

※一人何口でもお受けいたします。  
奉納数は一〇八ヶ寺で終了とさせていただきます。

蓮華台奉納のお申し出をしていただける方は、お願い事、施主名をお知らせ下さい。※申し込み用紙をお送り致します。



(一ヶ寺30名様完成品) 奉納者名は不動洞にて永代にご供養致します。



### 八十八ヶ所お砂ふみ 蓮華台奉納供養のお願い

不動洞内、八十八ヶ所各霊場ご宝前に立体的な蓮華台を設置。蓮の華にいだかれながら、お砂ふみ修行をしていただきます。

今、私たちはご先祖様の尊いご縁で生かされており、また毎日あらゆる力のおかげで生活しております。この尊いおかげの心をご供養するお気持ちで蓮華台奉納のお申し出をお願い致します。奉納供養は一口き万円とし各霊場側面に府県名、ご芳名を記し永代にご供養させていただきます。

合掌

### 新春に 福よかほ 香りさ!!

#### 特選 鯖大師名香

## 蓮華の香り 福丸



進物 三、八〇〇円  
徳用 一、八〇〇円  
小箱 九〇〇円

四国霊場 鯖大師本坊特選 福丸

### 大のぼり御奉納

令和元年七月一日より令和元年十一月三十日までに奉納された方です。  
(敬称略)

南無大師遍照金剛 家内安全・身体健康 仙台市 伊藤喜壽雄 令和元年十二月吉日	南無大師遍照金剛 家内安全・身体健康 仙台市 伊藤とよ子 令和元年十二月吉日	馬頭観世音菩薩 家内安全・身体健康 仙台市 伊藤とよ子 令和元年十二月吉日
---	---	--

仙台市 伊藤喜壽雄  
仙台市 伊藤とよ子  
気仙沼市 畠山さち子



# 般若心経 多宝塔

## お写経奉納のお願い

鯖大師本坊ではご信者の皆様、ご参拝の方々のお写経を多宝塔に奉納致します。

皆様のお写経奉納をお願いします。

お写経奉納の方はお送り下さい。お申し出いただいたお写経は多宝塔に奉納させていただきます。奉納お写経用紙をご希望の方はお申し出下さい、お送りします。



心経塔 (多宝塔)

お写経用紙 (三十枚つづり)

一冊 千円  
荷具送料 五百円

お写経奉納料 一卷(一枚)千円

奉納お写経 九九、六八八巻

右記の巻数は、平成二年十二月一日より令和元年十一月三十日までの累計です。

### 般若心経塔ご浄財ご芳名 (一万元以上)

愛知県

伊藤 富子

兵庫県

松浦 幸子

岡山県

井上 信子

山口県

松本 武利

徳島県

原 幸子

令和元年七月一日より令和元年十一月三十日までに  
お写経奉納・お供えされた方です。  
(敬称略)

### 「巻千文字」ご奉納 願主ご芳名

北海道 吉鷹 美枝  
石川県 吉田 恒子



ご奉納文字数 現在  
五百三十三文字目

### 不動ご浄財ご芳名 (一万元以上)

愛媛県 橋本 涉

愛媛県 橋本 美子

愛媛県 橋本 有美

令和元年七月一日より令和元年十一月三十日までに奉納された方です。  
(敬称略)

### 鯖大師・多宝塔

# 志萬羽鶴

## ご奉納 一羽・千円

鯖大師では皆様の願い、志萬人の想いを募り般若心経の書かれた紙に願いを込めて折って戴いた鶴「志萬羽鶴」のご奉納祈願を發願致しました。

皆様の願いを多宝塔の観音さまにお供えし、飛天さんに天空へと届け戴きます。

「お願い事、お名前を書き、一折り、一折りに想いと祈りを込めて一羽の鶴を完成させて下さい。」



多宝塔内、奉安

### 奉納折鶴 二、四七四羽

右記の数は、平成二十五年十一月三日より令和元年十一月三十日までの累計です。

# 般若心経 折り紙 願掛け千羽鶴

## 千枚・二千元

ご病気の方の快復を願ひ、子宝、出産、試験等の諸願成就の為、亡くなられた方の慰霊鎮魂の為、様々な願いを鶴に込めてお折り下さい。





結願大法要、令和二年二月三日(月)

# 節分・星祭り

運命を司り左右する星  
災いを取り除く星と供養  
一合間の無事と幸福を祈ります



結願大柴燈護摩

午後1時

炎の中に不動明王がおられる護摩は全ての不浄や災難を焼き尽くして下さいます



厄除け開運護摩

午前9時

お申出の星祭り祈願は1月5日、寒の入り開白より2月3日の結願までご祈念致します



火渡り修行

午後2時

知らず知らずに犯している罪を焼き祓い、心身共に清め得難き、ご利益を授かります



大般若経法要

午前10時

大般若経600巻転読の風(般若の風)は遍く広く功德があるとされています

※星祭り御祈願、お申し出の方はお急ぎ下さい。

二月二日「節分・星祭り」前夜祭

「飛天曼荼羅、ご開帳結縁法要」

法要、夜七時より

飛天の研究、第一人者であり画家・吉永邦治師が心魂を注ぎ三年の月日をかけ完成させた、飛天のご開帳結縁法要を執り行います。

法要後には塔内に入って戴けます。どうか、この機会に飛天曼荼羅空間を体感され、飛天さまと結縁をお結び下さい。

二月三日「節分・星祭り」

ご参加ご宿泊希望の方へ

鯖大師では毎年二月三日「節分」にその年が悪事・災難のがれ、無事過ごせますように星祭り大法要を厳修致します。運勢の変わり目、節分の法要に「ご参加ご修行」して悪事退除の一年間をお過ごし下さい。

※宿泊予約は一月二十日までに電話下さい。

## 鯖大師 試験 成就 特別護摩祈願

鯖大師では、高等学校、大学の入学試験をはじめ各種の資格試験の合格成就を特別に護摩祈願申し上げます。

ご祈願、ご希望の方は、お名前、年齢(かぞえ年)、志望校名、受験日をお知らせ下さい。

ご祈願規定

護摩祈願を申し上げます。受験前のご祈願、特製合格御守、合格念珠をお授け致します。

参万円(二十一日御祈願)  
壹万円(七日御祈願)  
五千円(三日御祈願)  
参千円(一日御祈願)

